



2022 年度 順天堂大学

【 講 評 】

[I]は、ノーベル賞受賞者へのインタビュー形式の読解問題。本文は非常に読みやすく、設問にも迷う選択肢はない。[II]は「アレルギーに対する蜂蜜の効能」に関する論説文からの問題。選択問題(3)の fluke、(5)の buzz、文挿入問題の gross の意味はやや難しいが、慌てなければ文意・文脈から推測できるはずだ。[III]は「クジラにがんが少ない理由」に関する論説文からの問題。専門的な内容にも言及されていたので、ある程度医系長文に慣れていないと難しいという印象を受けるだろう。[IV]は「幼少期の心血管系のリスク要因が成人後の認知能力に及ぼす影響」に関する論説文からの問題。[III]と同様にやや専門的な内容であるものの、こちらは展開が予想しやすいので読みづらさはないはずだ。[V]は自由英作文。「これまでの発明品の中で、1つを阻止するとしたら何を選ぶか」というテーマであった。短時間でまとめるためにはあまり難しいものを選択せず、身近なものから考えるといいだろう。重要なのは正しく読みやすい論理の展開である。

長文読解問題は4つとも難しいレベルではないので、長文問題をすばやく仕上げ、いかに自由英作文に時間をまわせるかが全体のポイントになる。

【 解 答 ・ 解 説 】

[I]

問 1

(1) 2

・ avid は「熱心な」の意味の形容詞。したがって、2 enthusiastic が正解となる。

(2) 3

・ adversity は「逆境、苦難」の意味の名詞。したがって、3 hardship が正解となる。

(3) 4

・ resentment は「憤り、敵意」の意味の名詞。したがって、4 bitterness が正解となる。

(4) 1

・ dabble in は「生噛りする、軽い気持ちで取り組む」の意味。したがって、1 play around with... 「…をいいかげんに扱う」が正解となる。

・ 下線部を含む文は「私の意見では、成功しない人というのは何かに軽い気持ちで手を出すか、本気で取り組まない人です」となって文意に合う。

(5) 2

・ work out は「うまくいく」の意味。したがって、2 succeed が正解となる。

問 2

(1) 4 「彼は、彼女に対して学び、問題解決をし、興味があることを追求するよう促した」

・ダウドナの 2 番目の回答の中で、「父は私にたくさんの本をくれた」「父は早くから興味のあることを追求するよう促した」とある。したがって、4 が正解となる。

(2) 3 「彼女が研究を続けることを助けてくれる支えになる指導者がいた」

・ダウドナの 2 番目の回答の中で、「私の興味があることを応援してくれる先生が何人もいた」「ノーベル賞受賞者のジャック・ショスタス先生の研究室に加わり、先生にみんなが励まされた」とある。したがって、3 が正解となる。

(3) 4 「成功する人は失敗から学び、前に進む」

・ダウドナの 2 番目の回答の中で、「私たちはみな恐怖心を持っていて、ときにそれに挑み失敗もする」「私が出会った成功している人たちは失敗に対処していた」とある。したがって、4 が正解となる。

問 3

(1) 2 go for it

・空所を含む文の直前で「すぐにあきらめてしまったら、自分に対して成功するチャンスを与えられない」と述べているため、空所を含む文は、若者に対して粘り強く努力を続けるように励ましていると考えられる。したがって、2 go for it 「最大限の努力をする」が正解となる。

・1. rely on it 「それに頼る」、3. give up 「あきらめる」、4. cheer up 「元気づく」はいずれも文意に合わないため不適。

(2) 3 diversity

・空所を含む文の直後で「科学で最良の結果を生み出したいなら、それに取り組む多様な頭脳が必要になる」と述べているため、空所に「多様性」の意味の 3 diversity を入れると文意に合う。

・1. disagreement 「意見の不一致」、2. agreement 「同意」、4. sincerity 「誠意」はいずれも文意に合わないため不適。

[II]

問 1

(1) 3. fake

・artificial は「人工の、模造の」の意味の形容詞。したがって、3. fake 「模造の」が正解となる。

(2) 4. guaranteeing

・promising は「有望な」の意味の形容詞。したがって、4. guaranteeing 「将来性が確実な」が正解となる。

(3) 4. an accident

・fluke は「まぐれ当たり」の意味。したがって、4. an accident 「偶然、運」が正解となる。

・下線部を含む文は「通常の蜂蜜とカバノキの花粉から作った蜂蜜の違いは統計的に有意ではないので、この研究はまぐれかもしれない」となって文意に合う。

(4) 1. honestly

・genuinely は「心から」の意味の副詞。したがって、1. honestly 「本当に、正直に」が正解となる。

(5) 2. excitement

- ・buzzは「ざわめき、興奮」の意味の名詞。したがって、2. excitement「興奮」が正解となる。
- ・下線部を含む文の直前で、「最高のシナリオでは、あなたはアレルギーから救われる」とある。空所を含む文を「この特別な治療法に興奮（するような効果）があっても驚きではない」と考えると文意に合う。

問2

(1) 4. 「二重盲検試験の参加者は自分が何を摂取するのか教えられない」

- ・第2段落最終文で、「次に彼らは二重盲検試験に進んだ。それは自分が何を摂取しているのか誰も知らない試験である」と述べられている。したがって、4が正解となる。

(2) 4. 「参加者は効果を得られるほどの量の蜂蜜を摂取しなかったのかもしれない」

- ・第4段落2文目で、「もちろん、参加者たちが十分な量の蜂蜜を摂取していなかったという可能性もある」と述べられている。したがって、4が正解となる。

(3) 3 「対照群は偽薬を与えられていないため、意義のある結論を導くことはできない」

- ・第6段落1文目で「この研究の問題は、対照群が偽薬を与えられていないことだ」とあり、3文目では「2種類の蜂蜜は強いプラセボ効果を生み出した可能性がある」と述べられている。したがって、3が正解となる。

(4) 2 「地元の蜂蜜はアレルギーに効果があるかもしれないが、それはあなたがそう信じた場合に限る」

- ・第7段落3文目に、「蜂蜜に効果があると信じれば、蜂蜜には効果がある」と述べられ、これが筆者の結論と考えられる。したがって、2が正解となる。

問3 3

- ・空所3の直前の文は、「参加者は毎日テーブルスプーン1杯の蜂蜜を摂取する」という意味。そして直後の文は、「最初の36人の参加者のうち、13人がその治療法が甘すぎるという理由で途中棄権した」である。空所に3「これが非常に不快に思えるとしたら、それはあなたひとりではない」を入れると文脈に合う。

[III]

問1

(1) 1. whales

- ・cetaceanは「クジラ目の動物」の意味。したがって、1. whale「クジラ」が正解となる。
- ・下線部を含む文は、「クジラのような長寿で巨大な哺乳類ではほぼ確実にガンになるはずだが、クジラ目の動物は致命的な病気に対して身を守る点で非常に優れていると科学者は気づき始めている」となり文意に合う。

(2) 4. be dependent on

- ・come down to...は「結局は...ということになる」の意味。したがって、4. be dependent onが正解となる。

(3) 3. exactly

- ・preciselyは「正確に、まさに」の意味の副詞。したがって、3. exactlyが正解となる。

(4) 2. advance

- ・make strideは「進歩する」の意味。したがって、2. advanceが正解となる。

問2

(1) 3 「彼女は幼いころにクジラに魅せられ、この研究テーマに興味を持った」

- ・第3段落2文目で、「彼女は子どものころから大好きなクジラへの愛を、研究で興味があることと結び付けた」と述べられている。したがって、3が正解となる。

(2) 2 「クジラは人間と同じがん抑制遺伝子を多く持っている」と科学者は発見した」

・第5段落3文目で、「科学者はこれまで人間の中で1,000を超えるがん抑制遺伝子を特定してきたが、そのうちの99%をクジラも持っている」と述べられている。したがって、2が正解となる。

(3) 4 「クジラの中に認められた分子の変異が長寿の一因かもしれない」

・第7段落2文目で、「これ（分子の変異）が、クジラの長寿と巨大なサイズの一因かもしれない。それは彼女が最も驚いた発見だった」と述べられている。したがって、4が正解となる。

(4) 1 「クジラのタンパク質コード遺伝子の研究が人間の健康に応用できるかもしれない」

・第8段落3文目で、「人間のガンにも関係のあるタンパク質コード遺伝子におけるクジラ特有の変化を研究することで、人間のガン治療の役に立つかもしれない」と述べられている。したがって、1が正解となる。

(5) 3 「クジラはどのようにガンになる可能性を下げなのか」

問3 1

・空所1の直前で、「細胞が多ければその分危険な病気を引き起こす細胞の変異の可能性が高まる」と述べられている。直後の文では、「しかし、クジラ目のガンや老化に対抗するメカニズムは謎のままです」とある。空所に1「逆説的に、大きくて長寿の種はガンのリスクが低い」を入れると文脈に合う。したがって、1が正解となる。

[IV]

問1

(1) 4 understandings

・insightsは「洞察、見識」の意味の名詞。したがって、4 understandings「解釈、見解」が正解となる。

(2) 4 discovery

・detectionは「発見」の意味の名詞。したがって、4 discoveryが正解となる。

(3) 1 at regular intervals

・periodicallyは「定期的に」の意味の副詞。したがって、1 at regular intervals「定期的な間隔で」が正解となる。

(4) 1 action

・interventionは「介入、治療処置」の意味の名詞。したがって、actionが正解となる。

(5) 4 established

・ingrainedは「浸透して、根付いて」の意味の分詞形容詞。したがって、4 established「定着して」が正解となる。

問2

(1) 1 「血流や心臓機能への生涯におよぶ脅威」

・第1段落1文目で、「幼少期からの心血管のリスク要因は、30代から50代での認知能力と関係がある」と述べられている。さらに3文目では、「心血管系に問題が多いほど、記憶テストと思考テストでの成績が悪かった」とある。したがって、1が正解となる。

(2) 3 「子どものころから、様々な健康状態を検査すべきである」

・第2・3段落では、「子どもの肥満や高血圧などが、大人になってからの心臓病や卒中のリスクを高めるため、幼少期の早期発見と予防が重要である」という趣旨である。したがって、3が正解となる。

(3) 3 「研究の集団が民族的に同一である」

・第8段落2文目で、「参加者が全員白人なので、その研究はすべての人に当てはまらないかもしれない」と述べられている。したがって、3が正解となる。

(4) 2 「子どもの良い手本となる」

・第10段落1文目で、「健康的な行動の手本を示すことで、肥満のような健康問題を子どもが克服するのを助けるのは親である」と述べられている。したがって、2が正解となる。

(5) 1 「子どもの健康状態が大人になったときの認知能力の低下と関係がある」

[V]

You might not believe it, but if I were to stop one of the existing inventions from having been created, I would choose the smartphone. The advent of smartphones has drastically degraded our lifestyle, destroying our relationships with others. Of course, I cannot deny that I enjoy the benefits it brings me every day. On my smartphone, I enjoy online games, YouTube and SNS. However, since it is too useful and convenient, we are sometimes too much absorbed in it. Although we already spend less time with friends due to COVID 19, we often gaze at that small screen hanging our head even when we see each other face to face. I hear that the same situations are often found at home, where the amount of time children spend with their parents and siblings has been decreasing. If we could control our use of smartphones and keep our relationships with others, I could wholly accept their usefulness and convenience. But if we couldn't, we might as well kick it goodbye. Raise your head and talk with your friends and family, because we are, as Aristotle said, social animals.

お問い合わせは☎0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>